国語

小学６年

発展編

SAMPLE

この本の使い方と特色

この本は、小学校六年間に学んだことがらを、短い期間で無理なく総合的に学習するとともに、高度な応用力を身につけて、国・私立中学の受験にも対応できるようにするために書かれたものです。

■ **単元の組み立て**　一つの単元は、**要点チェック** ⇨ **確認問題** ⇨ **練成問題**の順で組み立てられています。なお、要点チェックは、それぞれの単元ごとではなく、知っていなければならない知識や、知っていると文章を読みとるときに役に立つ知識の多い単元においています。

◆ **要点チェック**……問題を解くときに必要な知識や、文章の内容やテーマを速く正確につかむための知識が確認できるようにしてあります。

◆ **確認問題・練成問題**……基本的な問題の量が多いか少ないか、本文の内容や問題が難しいか易しいか、などによって、確認問題と練成問題とに分けてあります。練成問題は、難関校の受験にも対応できる難易度を持たせてあります。また、記述問題を多くして実戦的なものとしています。

目　次

1　漢字・語句 …… 2
2　物語(1) …… 6
3　物語(2) …… 10
4　ことばのきまり …… 14
5　論説文 …… 18
6　随筆 …… 24
7　詩・短歌・俳句 …… 30
8　総合問題 …… 35

1 漢字・語句

学習日　／

要点チェック

(1) 次のそれぞれの組の漢字の成り立ちをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 河・花・星　□② 日・月・山
□③ 上・中・下　□④ 炎・森・畑

ア 象形文字　イ 指事文字
ウ 会意文字　エ 形声文字

①	
②	
③	
④	

(2) 次のそれぞれの組の熟語の読み方をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 身分・場所　□② 先手・役目
□③ 教育・海岸　□④ 青空・野原

ア 音音読み　イ 訓訓読み　ウ 重箱（ジュウばこ）読み（音訓読み）
エ 湯桶（ゆトウ）読み（訓音読み）

①	
②	
③	
④	

(3) 次のそれぞれの熟語の組み立てをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① 国営　□② 公私　□③ 豊富　□④ 読書　□⑤ 良書

ア 似た意味どうし　イ 対義語どうし　ウ 上が下をかざる
エ 下から読むと意味がわかる
オ 上が主語、下が述語

①	
②	
③	
④	
⑤	

確認問題

1 次のそれぞれの組の――線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

□(1)
① 税金をオサめる。
② 成功をオサめる。
③ 国をオサめる。
④ 学問をオサめる。

□(2)
① 会社にツトめる。
② 議長をツトめる。
③ 解決にツトめる。

□(3)
① 進路をタつ。
② 消息をタつ。
③ 生地（きじ）をタつ。

□(4)
① 青少年をタイショウとした書物。
② 私と兄は性格がタイショウ的だ。
③ 左右タイショウの図形。

(1)	(2)	(3)	(4)
①	①	①	①
②	②	②	
③	③	③	②
④			③

2 次の上の欄（らん）のそれぞれの漢字を（　）の中のように読む熟語を下の欄から一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 児（に）――〈ア 児童　イ 男児　ウ 小児〉
□(2) 納（な）――〈ア 出納　イ 納屋　ウ 納入〉
□(3) 就（じゅ）――〈ア 就職　イ 成就　ウ 就任〉
□(4) 言（ごん）――〈ア 無言　イ 言行　ウ 発言〉
□(5) 外（げ）――〈ア 外国　イ 外科　ウ 外形〉
□(6) 名（みょう）――〈ア 名人　イ 無名　ウ 功名〉
□(7) 強（ごう）――〈ア 勉強　イ 強情　ウ 強制〉

SAMPLE

□(8) 明（みょう）――〈ア 明日　イ 明白　ウ 判明〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

3 次のそれぞれの漢字の①部首の名称と、②総画数を答えなさい。

□(1) 歌　□(2) 階　□(3) 街　□(4) 額　□(5) 究
□(6) 教　□(7) 考　□(8) 雑　□(9) 複　□(10) 発
□(11) 康　□(12) 慣

(1)	(3)	(5)	(7)	(9)	(11)
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②

(2)	(4)	(6)	(8)	(10)	(12)
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②

4 次のことばを漢字に直し、送りがなをつけなさい。

□(1) あやうい　□(2) うたがう　□(3) うけたまわる
□(4) いさぎよい　□(5) おぎなう　□(6) いちじるしい

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

練成問題

1 次のそれぞれの熟語の対義語をあとから一つずつ選び、漢字に直して答えなさい。

□(1) 複雑　□(2) 権利　□(3) 保守　□(4) 容易
□(5) 収入　□(6) 需要　□(7) 拡大　□(8) 子孫

キョウキュウ　ギム　コンナン　ソセン
シシュツ　シュクショウ　カクシン　タンジュン

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

2 次のそれぞれのことわざと意味のよく似ているものを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 上手の手から水がもる　□(2) 遠火で手をあぶる
□(3) 泥棒を見て縄をなう　□(4) 弱り目にたたり目
□(5) 医者の不養生　□(6) 馬鹿があって利口が引き立つ
□(7) 提灯に釣り鐘　□(8) 猫に小判

ア 馬の耳に念仏　イ あとの祭り　ウ 二階から目薬
エ 泣き面に蜂　オ 月とすっぽん　カ 紺屋の白袴
キ 弘法にも筆の誤り　ク 下手があるので上手が知れる

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

SAMPLE

3 次のそれぞれの故事成語の意味として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

□(1) 他山の石　□(2) 漁夫の利　□(3) 呉越同舟（ごえつどうしゅう）
□(4) 蛍雪（けいせつ）の功　□(5) 蛇足（だそく）　□(6) 矛盾（むじゅん）
□(7) 疑心暗鬼（ぎしんあんき）を生ず　□(8) 四面楚歌（しめんそか）

ア 疑いが生まれると何でもないことまでおそろしく感じられること。
イ 仲の悪い者同士や敵味方が、たまたま同じ場所にいあわせること。
ウ 他人の誤った言行や失敗の例をいましめとして自分に役立てること。
エ 周囲が敵や反対者ばかりで、一人も味方や助けがないこと。
オ あっても益もないむだなものをわざわざつけ足すこと。
カ 苦学した成果、または、苦労して学問にはげむこと。
キ 当事者が争っている間に、第三者が利益を横取りすること。
ク 前に言ったことと後に言ったこととがくいちがうこと。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

4 次のそれぞれの組の□には共通した体の部分を表す漢字が入ります。それを考えて答えなさい。（同じ漢字は二度使えない）

□(1) □から鼻へぬける　□がない
□(2) □をぬぐう　□が重い
□(3) □が出る　□がつく
□(4) □をこまぬく　□にあまる
□(5) □をさぐる　□をわる

(4)	(1)
(5)	(2)
	(3)

5 次のそれぞれのひらがなだけの文を、決められた字数の漢字とひらがなまじりの文に書き直しなさい。ただし句読点は字数に数えません。

□(1) あたらしいちかてつのかいつうしきがおこなわれました。（十七字）

□(2) こころよいかぜがみなみがわのまどからはいってきます。（十六字）

□(3) うんどうごはてきとうにすいぶんをおぎないましょう。（十六字）

6 次の例にならって、右回りのしりとりで二字熟語が四つできるように、それぞれの□に漢字一字を入れて答えなさい。

（例）1→芸　園芸→芸能→能楽→楽園となるので、
→　←（答え）1＝園　2＝能
楽↑2

□(1) 除→2
1↑見

□(2) 1→意
物↑2

□(3) 雲→2
1↑流

□(4) 映→2
1↑風

SAMPLE

□(5)

1 → 火 ↓
カ ← 2 ←

(4)	(1)
1	1
2	2
(5)	(2)
1	1
2	2
	(3)
	1
	2

7 次のそれぞれの組の漢字に同じ部首をつけると、それぞれ別の漢字になります。(例) にならってその部首を答えなさい。

(例) 夜・永・立・谷　(答え) 氵

□(1) 首・車・刀・米　□(2) 女・示・由・谷

□(3) 大・寸・古・木　□(4) 川・令・豆・原

□(5) 重・多・火・少

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

8 次の文章の――線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

前王が国外に㋐ボウメイし、私が周囲に㋑オされて新しい王になった。今は国の立て直しが急務だ。まず、食糧不足を解消しなければいけない。㋒コクモツは緊急輸入でまかなえているが、新鮮な青果や乳製品の㋓キョウキュウは全国的に不安定だ。商品が店頭に㋔ナラぶと、すぐに人がおし寄せるので、どの店でも客の行列を㋕トトノえるのが大変らしい。そんな状況を早く㋖カイゼンしなければ。皆の期待に㋗ソムくわけにはいかない。今日もその食糧問題について大臣たちと会議を行う。実のところ、㋘オカンがしてのどが痛く、しゃべるだけでもつらいのだが、そんなことは言っていられない。何とか元気そうな㋙コワイロを作って臨むとしよう。

㋐	㋑
㋒	㋓
㋔	㋕
㋖	㋗
㋘	㋙

9 次のそれぞれの熟語とほぼ同じ意味のことばをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 突然　□(2) 故意　□(3) 横着　□(4) 断念　□(5) 平凡

□(6) 直接　□(7) 真剣　□(8) 前兆　□(9) 永久　□(10) 不面目

ア じかに　イ 恥　ウ やにわに　エ わざと

オ 本腰　カ 骨惜しみ　キ 月並み　ク とこしえ

ケ あきらめ　コ きざし

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

10 次のそれぞれの文の□に入る三字の熟語を、あとの漢字を組み合わせて作りなさい。ただし、同じ漢字は二度選べません。

□(1) この辺りには、まだ□が残っているから、小鳥が多い。

□(2) 優勝の喜びで、選手も観客も□になっていた。

□(3) ほぼ定員どおりに□なく人を集めることができた。

□(4) 断りもなしに帰るとは、□きわまる行動だ。

〔天・不・木・有・足・非・林・常・頂・過・雑・識〕

(4)	(1)
	(2)
	(3)

SAMPLE

2 物語(1)

学習日　/

確認問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

〈上野哲也「ニライカナイの空」より〉

（注）曲尺＝直角に曲がった金属製のものさし。
ヨナ爺＝竹ちゃんの親戚のおじいさん。

□(1) 本文の表現上の特色を述べたものとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 音や様子をそれらしく表すことばを多用し、独特のリズム感とテンポを生み出すことで、場面に緊迫感（きんぱくかん）をあたえている。

イ たとえの表現を多用し、場面を細かくえがき出すことで、人物の姿や周囲の様子を印象づけている。

ウ 感覚的な表現を多用し、また、現在形の文を織り交ぜることで、情景や人物の心情を生き生きとえがいている。

エ 省略を多用し、時間の流れに沿って出来事を述べることで、その時々の人物の心理を想像させている。

□(2) ――線①「ゆっくりと確実に少しずつやるとよか。結局、それが一番早い」というアドバイスに最も近い意味のことわざを次から選び、記号で答えなさい。

ア 急がば回れ　イ 石橋をたたいてわたる
ウ 案ずるより産むが易（やす）し　エ ちりも積もれば山となる

□(3) ――線②「鼻っ柱の強い子」とは、どんな子ですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 乱暴で、気があらい子。　イ 自信満々で、生意気な子。
ウ 大胆（だいたん）で、度胸がある子。　エ 勝ち気で、負けずぎらいな子。

□(4) ――線③「うんとは言わんやろうな」とありますが、何に対して、うんとは言わないのですか。書いて答えなさい。

□(5) ――線④「僕は大木さんになるのをその場であきらめた」が表していることとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア「僕」が、自分に船造りの才能がないことをさとったこと。
イ「僕」が、大木さんとは親しくなれないと感じたこと。
ウ「僕」が、大木さんのすごさを改めて実感したこと。
エ「僕」が、自分を無視する大木さんに反感を覚えたこと。

□(6) ――線⑤「竹ちゃんが呼んでいる。しかし、どうしても返事することができなかった」とありますが、返事することができなかったのは、竹ちゃんに対して、「僕」がどんな気持ちをいだいていたためですか。本文中から五字で書きぬいて答えなさい。

SAMPLE

練成問題

● 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

（注）露見＝秘密や悪事が人に知られること。
被虐的＝自分で自分をいためつけるような。
奈落の底＝どん底。　嘲笑＝あざわらうこと。
憑かれた＝何かにのりうつられたように。　なかんずく＝特に。

□(1) 本文中の【　】の部分の「少年」の心理の変化として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　疑惑→憤り→あせり→反抗心→憐れみ
イ　あせり→疑惑→憐れみ→憤り→反抗心
ウ　憐れみ→憤り→反抗心→あせり→疑惑
エ　憤り→疑惑→憐れみ→反抗心→あせり

□(2) ――線①「相手」という表現には「少年」のどのような気持ちが表されていますか。「□気持ち」の□にあてはまることばを本文中から六字で書きぬいて答えなさい。

□(3) ――線②「それがどのような動作として教師の目に映るかと考えた」とありますが、「少年」は自分の動作を教師がどういう動作としてみると考えたのですか。最も具体的に書かれている部分を本文中から十字で書きぬいて答えなさい。

□(4) ――線③「狂おしい努力」とありますが、それはどんなことですか。本文中の【　】の部分から十七字で書きぬいて答えなさい。

□(5) ――線④「その柔らかい、しなやかなゴムを、二つに折れるほど乱暴にねじまげてみた」とありますが、この時の「少年」の心理として最も適切と考えられるものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　自分一人だけが仲間外れにされているという孤独感から脱出することができた解放感を、どう表現していいかわからず、もてあましている。
イ　答案の端にのっていた消しゴムがころがってしまったせいで、ひどい苦しみを味わったので、消しゴムに対して思う存分怒りをぶつけている。
ウ　解けそうにもなかった問題を解いた満足感と、解いたことによって教師の疑惑を自分の中ではねかえした喜びとをかみしめている。
エ　自分だけを疑っている教師に対する湿っぽい憤りを、消しゴムを乱暴にねじまげることによって少しでもまぎらそうとしている。

SAMPLE